

令和4年度 小施策評価シート

作成日	令和4年4月28日				作成課	建設管理課		作成者	江崎達人	
小施策	04	—	04	—	01	道路・橋梁・水路等の新設改良				

1. 小施策の位置づけ<Plan>

都市将来像	未来をひらく にぎわいとやすらぎのコミュニティ都市							
政策	04	都市と自然が共生した安全で安心なまちづくり						
大施策	04	公共土木施設や付随施設の適正な維持管理					—	
めざそう値	—							
	設定時	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	—	—	—	—	—			
現状と課題	今後、建設後50年以上経過する道路や橋梁・水路などの公共土木施設の割合は加速度的に高くなる見込みであり、このように一斉に老朽化する公共土木施設を計画的に維持管理・更新することが求められています。 その中でも、道路陥没を引き起こす路面下の空洞状況を把握し、事故が発生する前に対応するなど、公共土木施設の維持管理により市民の安全安心を確保することが重要な課題となっています。							
大施策の基本目標	市民生活においては住みよい環境を保つのに欠かせない道路や橋梁などの公共土木施設について、計画的な整備や、予防保全のための維持管理を実施し、快適で安全な都市基盤の維持に取り組みます。 また、交通事故を未然に防ぐために、交通安全施設の整備を行い、市民生活の安全向上を図ります。							
小施策	01	道路・橋梁・水路等の新設改良						
小施策の基本目標	道路（無蓋側溝の有蓋化など）、交通安全施設（カーブミラー・路側帯のカラー舗装）などの新設や改良を行います。							

2-1. 小施策を構成する事務事業<Do>（詳細は別紙3参照）

事業1	道路新設改良事業・無蓋側溝有蓋化事業	事業13	
事業2	交通安全施設整備事業	事業14	
事業3		事業15	
事業4		事業16	
事業5		事業17	
事業6		事業18	
事業7		事業19	
事業8		事業20	
事業9		事業21	
事業10		事業22	
事業11		事業23	
事業12		事業24	

2-2. 小施策に投入する業務量と事業費<Do>

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量（正規）		2,453時間	2,407時間
	業務量（会計）		34時間	411時間
	業務量合計		2,487時間	2,818時間
		令和2年度実績（決算）	令和3年度見込（決算見込）	令和4年度計画（予算）
カネ	事業費	270,485千円	167,623千円	139,500千円

一般財源	31,894千円	27,450千円	29,500千円
特定財源	238,591千円	140,173千円	110,000千円

3. 小施策における客観的成果（主な指標）<Check>

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:達成値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
有蓋化した側溝総延長	km	18	7	7	4	－	－
			7	7	4	－	
路側帯のカラー塗装	km	3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
			1.03	0.6	0.6		
成果の達成原因・ 未達成の原因と 達成に向けた 改善点等	・無蓋側溝の有蓋化:計画的な整備の実施により、目標を達成した。 ・路側帯のカラー:通学路の点検を実施し、着実に塗装を進めた。						
主な関連事務事業							

4. 小施策の展開<Action>

過去の施策マネジメント 診断結果 （小施策への診断）	診断実施年度： 未実施
	未実施
小施策の目標達成に向けた課題（達成に向けて必要なこと）	路側帯のカラー舗装については、通学路の点検を実施し、地元や警察と協議し進めることから現状の把握が課題となる。
小施策の目標達成に向けた取組の方向性（上記課題を解決するために実施すること）	関係者と通学路の点検を実施し、カラー舗装箇所の路線を確認していく。

(空白)

別紙1 小施策構成事務事業一覧表(事業費、業務量)

別紙1 小施策構成事務事業一覧表(事業費、業務量)		小施策		道路・橋梁・水路等の新設改良						作成課	建設管理課			
		職員構成		係長		担当		再任用 PM		再任用		会計年度 任用職員		計
事業 番号	事務事業名	上段:総事業費(単位:千円) 下段:特定財源(単位:千円)			事業費、特定財源に関するコメント (主な増減理由等)	業務量(単位:時間)			業務量に関するコメント (主な作業、増減理由等)	備考				
		R2年度決算	R3年度見込	R4年度予算		R2年度実績	R3年度実績	R4年度計画						
計		270,485千円	167,623千円	139,500千円										
		238,591千円	140,173千円	110,000千円			2,487時間	2,818時間						
1	道路新設改良事業・無蓋側溝有蓋化事業	239,495千円	140,173千円	110,000千円										
		238,591千円	140,173千円	110,000千円			2,053時間	2,454時間						
2	交通安全施設整備事業	30,990千円	27,450千円	29,500千円										
		0千円	0千円	0千円			434時間	364時間						
3		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
4		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
5		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
6		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
7		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
8		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
9		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
10		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
11		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
12		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
13		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						
14		0千円	0千円	0千円										
		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間						

(空白)

別紙2__小施策構成事務事業各概要						小施策名		道路・橋梁・水路等の新設改良								
事業番号	事務事業名	事業概要(目標は総合計画の目標年度)														
		事業区分	根拠法令・要綱等	事業の性質	市の実施義務	目的【何のためにこの事務事業を実施するのか】	直接対象【誰(何)を対象にこの事務事業を実施するのか】	対象規模(人数等)	手段【どのような手段でこの事務事業を実施するのか】	期待される成果【左記の手段をとることで、誰にどのような成果がもたらされることを期待するのか】	実施形態【外部委託の状況、補助・助成の状況】		筑紫地区等近隣自治体との比較	本市の水準、順位等	小施策への貢献度【左の成果をあげることにより、小施策の目標達成にどのような影響を与える(ことが期待できる)か】	貢献度
1	道路新設改良事業・無蓋側溝有蓋化事業	実施計画事業	道路法	自治事務	努力規定	道路の安全性・利便性を確保するため	有蓋化されていない側溝	18 km	地元区からの要望や職員パトロールなどにより作成した事業計画に基づく、道路改良事業及び側溝有蓋化事業	全市民に対し、日常生活での歩行者の利便性や安全性を向上させることによる、住環境への満足度向上	全部委託		同程度	高い	安全安心を確保できる	高(3点)
2	交通安全施設整備事業	経常事業		自治事務	任意規定	道路の安全性を確保するため	小学生の通学路	3 km	カーブミラーの設置や区画線、路側帯のカラー塗装などの事業	全市民に対し、交通事故防止や運転者、歩行者の安全確保	全部委託		進んでいる	高い	安全向上を図ることができる	高(3点)
3																
4																
5																
6																
7																

別紙2__小施策構成事務事業各概要						小施策名			道路・橋梁・水路等の新設改良				
事業番号	事務事業名	小施策の目標を踏まえた現状と課題					小施策の目標達成に向けた今年度以降の事務事業の方向性			優先順位		備考	
		現時点の成果達成状況		診断実施年度：未実施		現時点の課題 【期待される成果をあげるため(小施策の目標達成に貢献するため)に必要なことは何か】	今後の方向性	事業費の方向性	業務量の方向性	事務事業の今後の取組の方向性(コメント)	貢献度+進捗度+方向性		優先順位
		達成度	【現時点ではどのような成果がでているか(左記の当初期待される効果及び当初は期待していなかった効果の発現状況)】	過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)									
1	道路新設改良事業・無蓋側溝有蓋化事業	最終年度目標達成(1点)	コロナ禍による経費削減のため道路改良は、年間1,000mとなった。無蓋側溝有蓋化は、令和3年度に目標値を達成し、住環境の向上に寄与している	未実施	未実施	事業の着実な実施	縮小(1点)	縮小	縮小	コロナ禍における事業見直しで、事業費が縮小したため事業実施延長1,000mを目指す。	5	2	無蓋側溝有蓋化事業は、目標値を達成したため完了
2	交通安全施設整備事業	当該年度目標達成(2点)	交通安全施設の新設や更新は迅速にできおり、数値化はできないが道路利用者の安全確保に寄与している	未実施	未実施	事業の着実な実施	現状のまま継続(3点)	維持	維持	市民の安全性を守る事業であるため、確実に実施していく。	8	1	
3													
4													
5													
6													
7													

別紙3_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	道路・橋梁・水路等の新設改良					
事務事業名	事業1	道路新設改良事業・無蓋側溝有蓋化事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	建設管理課			事業区分	実施計画事業	
根拠法令・要綱等	道路法					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	努力規定	

目的	道路の安全性・利便性を確保するため				
対象	有蓋化されていない側溝				
対象者数	18km				
手段(活動)	地元区からの要望や職員パトロールなどにより作成した事業計画に基づく、道路改良事業及び側溝有蓋化事業				
期待される成果	全市民に対し、日常生活での歩行者の利便性や安全性を向上させることによる、住環境への満足度向上				
実施形態	全部委託				
筑紫地区等 近隣自治体との比較	同程度			高い	

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	未実施	診断実施年度: 未実施	事務事業の今後の取組の方向性	縮小(1点)
未実施			コロナ禍における事業見直しで、事業費が縮小したため事業実施延長1,000mを目指す。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		2,019時間	2,368時間
	業務量(会計)		34時間	86時間
	業務量合計		2,053時間	2,454時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	239,495千円	140,173千円	110,000千円

財源	一般財源	904千円	0千円	0千円
	特定財源	238,591千円	140,173千円	110,000千円
	特定財源内容	地方債 58,100- その他 180,491-	地方債 65,700- その他 74,473-	その他 110,000-

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	改良した路線の延長	km	7	2	2	1	1	1
				2	2	1		
活動指標②	有蓋化した側溝の延長	km	18	7	7	4	－	－
				7	7	4		
成果指標①	道路改良計画路線の整備率	%		100	100	100	100	100
				100	100	100		
成果指標②	側溝有蓋化計画路線の整備率	%		100	100	100	－	－
				100	100	100		
上記指標に表れない成果等								

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績					令和4年度計画						備考(増減理由等)	
			正規職員等					会計 年度	正規職員等						会計 年度
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	2,019	74	1,945	0	0	34	2,368	188	2,180	0	0	86	
1	境界立会(工務担当分)		141		141			34	140		140			86	
2	道路新設改良事業(設計委託)		272	8	264				461	60	401				業務内容の見直しのため
3	道路新設改良事業(工事)		1,172	40	1,132				1,767	128	1,639				業務内容の見直しのため
4	無蓋側溝有蓋化事業		434	26	408				0						令和3年度に事業完了のため
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	道路・橋梁・水路等の新設改良					
事務事業名	事業2	交通安全施設整備事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	建設管理課			事業区分	経常事業	
根拠法令・要綱等						
事業の性質	自治事務			市の実施義務	任意規定	

目的	道路の安全性を確保するため		
対象	小学生の通学路		
対象者数	3km		
手段(活動)	カーブミラーの設置や区画線、路側帯のカラー塗装などの事業		
期待される成果	全市民に対し、交通事故防止や運転者、歩行者の安全確保		
実施形態	全部委託		
筑紫地区等 近隣自治体との比較	進んでいる		高い

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	未実施	診断実施年度: 未実施	事務事業の今後の取組の方向性	現状のまま継続(3点)
未実施			市民の安全性を守る事業であるため、確実に実施していく。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		434時間	39時間
	業務量(会計)		0時間	325時間
	業務量合計		434時間	364時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	30,990千円	27,450千円	29,500千円

財源	一般財源	30,990千円	27,450千円	29,500千円
	特定財源	0千円	0千円	0千円
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	路側帯のカラー塗装路線の整備率	%		100	100	100	100	100
				171	100	100		
活動指標②	路側帯のカラー塗装	m		600	600	600	600	600
				1,030	600	600		
成果指標①								
成果指標②								
上記指標に表れない成果等	路側帯内をカラー舗装にすることによって、交通事故防止に寄与している。							

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績					令和4年度計画						備考(増減理由等)	
			正規職員等					会計 年度	正規職員等						会計 年度
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	434	24	410	0	0	0	39	0	39	0	0	325	
1	交通安全施設整備事業		434	24	410				39		39			325	業務の進め方を見直したため
2			0						0						
3			0						0						
4			0						0						
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						